

# 大野市報



## 新年をむかえて

市長 齋藤重雄



市民の皆様、明けましてお目出度うございます。

新しい年の始めには、誰でも新しい構想や希望が、おのずからわいて来て、今年是非ともこうしたいとか、こうもありたいかと思うものであります。これが進歩発展につながるもので、誠に意義深いものであります。元来、自治体の政治と云うものは、徹頭徹尾パブリック・サービス（公衆への奉仕）でなければならず、なんとかして一人でも多くの市民の皆様と直結し、皆様に親しみをもつて頂ける市政であり、市役所にしたいと云う事が、私の就任以来の念願であり、恐らく今後の理想とも云えると思うのであります。私が重責を負つて以来、微力の為に、あれもしたい、これもしたいと思いつつ、文字通り光陰矢の如く去つて、ここに市制施行はや第二回目の正月を迎えたのであります。本年は国の中央、地方を通じて財政的に至極困難な年であると思われまふ。特に当市の如

き合併直後の新市の財政の運営には、深刻な困難が予想されるのであります。

それで諸般の事業は緊急を要する効果的なものだけに止め、赤字の克服、健全財政の確立を期さなければならぬと思ひます。

併し徒らに消極退嬰にのみ陥ることのないようなすべき建設事業は活潑に推進して、市政の運営にあやまることのないよう念願致して居ります

## 明るく豊かな故郷を

市議會議長 松田 確太郎

うららかな春たち返るあけぼのを、目出度く迎えなさいました市民の皆様にお祝詞申し上げます。昨年は天の恵みの偉大さで、近年稀にみる豊饒の秋を送られました農家の方々の辛多かりをおよるこび申します。商工界はあまり良好とはいえないかつたのであります。これを保ち得たといえるのではな

まず土木事業としては市道の整備、拡充に重点を置き交通の便をより良くし、各地区との連絡をもつとも至便ならしめるために、公衆電話の設置なども考慮し、新市の市民の緊密な融和を計る一助としたい。

防火消防に付いては、村部には簡易水道と並行して防火貯池水の設置、市街地には完全な防火用水を計画したい。農林振興には、土地改良事業と農林道の拡充に重点を置き治山治水の目的で植林を奨励し、市の基本財産として、市有地の造林化に力を致したいと思ひます。市街地の発展



いでしょうか。市政に於きましても、合併第一年でありましたが、地方財政窮乏化により、政策遂行に支障をきたして参りましたので、これが打開策として政府並びに国会に対し、地方交渉の方途につきましても、来るべき三十一年度予算編成議会に於て、あきらかに致したいと存じております。

X X

東 住民登録同姓番付(本庁扱分) 西

Table of resident registration numbers by surname, divided into East and West sections. Includes names like 横綱 松田, 大関 前田, etc., and their corresponding registration numbers.

今月の行事

- 一日 △元日 △新年祝賀名刺交換会(大野有終南小学校講堂(午前十時))
四日 △御用始め
上旬 △消防出初式 △男子青年学級開講(富田公民館 △昭和三十一年度予算提出)
十五日 △成人の日(各地区公民館)
十七日 △戸籍事務研究会(本庁)
中旬 △農業振興計画樹立対策打合せ △補助金適正化について打合せ △新生活部落座談会(富田公民館)

歳末援けあい募金に

寺町、大宝寺から一千元水落、李仁錫氏から五千元をそれぞれ社会福祉協議会事業費に、福井市老人互助会から五千元を和光園の方々に、楽しいお正月をしてほしいとの程民生課を通じて寄附があった。

クリスマスに

市長さんら贈物
十二月二十四午後、市長民生課長、市社会福祉協議会長、市連合婦人会長らが

十二月議会

- △一日 文教委(午前)
△六日 商工委(午後一時)
△十四日 林務委員会(午前)
△二十二日 第十一回臨時市議会(午前九時)
△二十四日 第十二回定例市議会(午前九時)

住民登録について御願

住民登録について心得て頂きたいことを二、三申し上げます。
昭和二十六年に住民登録法が制定されまして、この法律に基いて現在市内に住んでおられる全部の方が、住民票に登録されています。この住民票は世帯を単位に一人々々の氏名、生年月日、男女の別、世帯主との続柄、戸籍の表示、住所住所を定めた年月日、従前の住所等が記載されており、他の市町村から当市に転入される方、または当市から他の市町村へ転出される方は、この法律の定めるところに従って、その市町村に住所を定めた日から十四日以内に、新住所の市町村長に転入届をしなければならぬのであります。又当市の区域内で住所を変更した場合、転居届を、その他住民票に記載されている事項に変更を生じた場合(たとえば世帯主が変わった場合など)は変更届を、それぞれ十四日以内に市長に提出しなければならぬのであります。届書用紙は何れの場合も戸籍課に備えてありますので期間におくれないうよう印鑑をお持ちになつて、必ず戸籍課或はそれぞれの出張所までおいでを願いたいと存じます。

目標の九五%

日赤社員増強運動
昭和三十年五月いらい、日赤社員の増強に關し運動を推進してまいりましたが、社員各位の日赤事業に關する御理解と、運動関係各位の絶大なる御尽力に依りまして、十月末現在、市地区社員数四、二二六名に達し、社員募金額も五四四、九五〇円となり、初期目標額の九五%に到達しました事は、本事業発展のため慶賀に絶えません。こゝに市報を通じ、社員各位に感謝の意を表し、併せて結果報告に代えさせていただきます。
日本赤十字社福井県支部
大野市地区長 齋藤重雄

所得税法の一部改正

四、概算所得控除
② 所得控除
今回新たに概算所得控除の制度が設けられました。この制度は納税者の選択により所得の金額(給与所得については給与所得控除前の給与所得の収入金額)の五%(昭和三十年分については二五%)相当額を一万五千元(昭和三十年分については七千元)を限度として、所得金額から控除されます。ただしこの概算所得控除を選択した者については社会、保険料控除、雑損控除及び医療費控除の諸控除は認められません。また、災害被害者に対する租税の減免、徴収猶予に關する法律による所得税の減免は受けられません。



以前読んだ或る女流作家の作品に「……私の今の気持は丁度お正月の元旦の様な気持です。こう何か前途が明るく洗われて、新しくなつた様でそして暖くてチョッピリ甘い気分がひたつています……」と女主人公が手紙に書いている場面があつた。私は正月を迎える度にこの言葉が頭に浮ぶ。まことに正月の気分とは一種特別な雰囲気をかもし出せるものである。新しい年と云う言葉がよく口にされるしかしこの「新しい」と云う事について我々は深く考えてみた事があるだろうか。「新しい」とは、いつ迄も古くならない事ではなからうか。クルクルと猫の目が変わる様になつてゆく洋服のデザインを、ニールックとよんでいるが、本当はニューとよぶべき性質のものではなく、むしろチェンジ(変化)と云うのが妥当かも知れない。新しい事と変化する事とは別ものである。その証拠に古代のハニワや、中世紀の仏像が今、我々に与える感じは実に新鮮そのものである。これらには、いわゆる新しいさはないが、常に古びないものを奥にひめる偉大な新しさがある。今年一年、毎日々々の連続が今日の「元旦」の様な気持で過したい。



明けましておめでとうござい  
ます。  
一九五六年の輝かしい新春を  
迎えまして、市民各位とともに  
心から教育の発展を祝福いたし  
ます。今年は大野市が発足いた  
しましてから、第三年目に当る  
きわめて意義深い年でありま

### よい政治 正しい教育による 躍進の年

教育長 龍波 六

龍波 六

新市発展の基礎造りでありま  
す教育の道におきまして、第一  
は調査研究の年であり、第二  
は計画実践の年であり、第三  
は躍進の年であると思ひます。  
申し上げるまでもなく、東西  
十里、南北四里にわたる大野  
市におきましては、この広さこ  
ろの力かと思われま

の如く、広さの中に内蔵され  
ている真の力を引き出して、益々  
盛大にしてゆくものは、須くよ  
い政治と、正しい教育でなけれ  
ばならないと思ひます。

大野市の教育は、この千差万  
別、新旧不同、従横無限とも云  
うべき広さをもつ郷土社会を基  
盤として、その中にうごめく現  
実の人間を対象として、運営さ  
す地複式教育の振興、能力別指

導による学習活動の浸透、産業  
教育、理科教育の振興と、生活  
を通しての道德教育等に堅実な  
歩みを続けなければなりません  
社会教育におきましては、大野  
市の精神的基礎をなす市民性の  
向上をめざして、新生活運動を  
積極的に展開しなければならま  
せん。

幸に大野三〇〇名の学校教職  
員及び八つの公民館職員は新生  
の理想にもえて  
「教育は大野より」の光栄ある  
モットーのもとに進んでいま  
す。然しながら教育は、よりよ  
き環境の中のみ伸展するものと  
信じます。

何卒、親愛なるPTA、婦人  
会、青年団等の自主団体を始め  
として、市民各位のこの上とも  
一層の御協力を切望してやま  
せん。

山と田に囲まれた大野市で  
は、自然農林業の発達が市  
商工業発展の基礎で、市総  
面積の七割余を占める広大  
な林野の立体的な運営の妙  
は、産業経済の発展に大き  
な役割をもっている。資本  
廻転のにぶい林業経営は、  
どのようにしたら早く廻転  
するか、これには種々の方  
法もあるが、全体の力によ  
つて研究し、産業の合理  
化、販路開拓のために、又

やがて押し寄せる農業恐慌  
に備え、農林業の多角化を  
計り、総合生産に基をなす  
堅実な市政に資したいとの  
趣旨から本号  
より林務課と  
市民の皆さん  
の御協力によ  
り、林業メモ  
欄を企画してともに林業政  
策に対する関心を高めたい  
と願ふ



伐採の許可申請書提出  
一月のこよみ

一月一五日まで  
造林の予定地申告 一月二  
〇日まで  
昭和三十一年四月一日より  
昭和三十一年三月三十一日  
までの間に立  
木の伐採(保  
安林内の立木  
及び普通林で伐採の許可を  
要するもの)及び造林を  
施される場合は、期日に遅  
れない様申告並に申請書を

提出して下さい。  
申告及び申請書の提出場所  
並に区域  
受付場所(カッコ内は区域)  
市役所林務課(大野、下庄、  
乾側、富田地区)

下庄出張所(下庄地区)  
乾側出張所(乾側地区)  
富田出張所(富田地区)  
五箇森林組合(五箇地区)  
上庄(上庄地区)  
小山(小山地区)  
阪谷(阪谷地区)



時間旅行が最近やかまし  
く云われているが、それ以前  
今では大半の会員が定刻迄に  
の問題として「どうすると出  
席者がふやせるか」と云う事  
に頭を悩ましていらっしゃる方  
分沢山ある事と思う。  
今日はそれを見事に解  
決している会合を、市  
内から拾つて紹介して  
みよう▼大野織物工業  
協同組合では、総会や  
全員協議会等のある時  
には、出欠の有無にかかわら  
ず、全会員から五十円を徴収  
し、定刻迄に来た人にはタ  
コの新生を二箱、開会後十分  
以内に来た人には一箱ずつ渡  
す事をきめ、去る五月から始  
められた事である。

北海道開拓  
を志す青年を  
対象とする、  
北海道開拓実  
習生を募集し  
ていませう  
希望される方  
は市役所に問  
合せて下さい  
▽募集要領  
一、応募資格  
二十歳以上  
三十歳まで  
の者。  
二、実習場  
十勝、釧路  
各拓殖実習場及び農家。  
三、教育期間 昭和三十一年三  
月一日から翌年二月末日まで  
の一年間。

## 北海道開拓実習生募集

申込みは市役所農務課へ

靖国神社 奉賛会の  
結成にお力ぞえを

英靈をお祀りしてある靖国神  
社、縣護国神社は、戦後、一部  
の遺族や崇敬者の奉仕で、本  
殿のみ建てられ、その運営維持は  
国および県の所屬を離れており  
ますが、今日この両社殿の建立  
が叫ばれ、奉賛会の結成運動が  
行われていますので市民の皆様  
も賛同して戴き、遺族の方々に  
御協力をお願いします。



# コント 正月のいろいろばた

(大八車の話)

松本 正治

祖先伝来の粉が星のように明滅するいろいろばた。家族がかこんで、しんからくつろぎ、笑顔で餡色のほだ火の炎を見つめるのは、やつぱり年のはじめの三日をほかにしてはない農村の明け暮れで、昔も今も変りない。

本年は昨年につづく豊年景氣から、一挙滅おとされるという風説もあるが、備けの山分け仲間から、何時もはずされていゝ真正直な百姓には、食うだけ食たらあとはおてんと様まかせてお隣りさまから聞かえてくるほろ備けの高笑いを、自分の話声で消して、若い者の耳に入れまいとする古老の心やり。

貧しゆうても心に曇りのない一家には、おてんと様がついてござるで、とカラカラと笑う。敗戦後十一年の正月があぐつてきた。しかしながら昔も今も変りないいろいろばた。餡色のほだ火の炎が、めらめらと燃え上り、はせて、アマに明滅する火の粉の花。

古老は咳一つして、いうのである。

「明治二十八年、大野町に大火があつたあとの、大野町は今の

戦災地さながらの姿だつたが、時勢も人情も違つていたので、すぐさま藁葺、荷車の音、掛声が焼の原に以前より賑やかな町を盛り上げていつたわい」

古老の話によると、当時このかいわいの村の若衆たちは、そのためにも相当懐ろがだぶついた様子である。何しろ町まで一里しかない真名川や丸頭龍川から二、三人で砂利やガラ石を大八車一荷すれや、帰りは酒屋、餅

屋のお女将にぞつこんのあいきようを得て、右足高く左足ひくく、どうにか家にとどりつくといふ具合、しかもチロチロ眼で親父の前に座り（あとには段々）と坐るような小心を無うして、これ親父という恰好で）ぼいと残りの金を投げ出したという。身でもちくずしてゆく息子の姿に親の横柄をみせようとして

も、ぼいと投げ出された残金の重みは、親父など夢にもつかんだことがない重味だもので、洗面が手ものうくずれて、結極息子を手の平に受けるようなオチになつてしまふ。そんなわけあいで息子はそれから一生、親父

の上に立つたという。その息子たちももう年老いた今日のごとく、彼らが若衆たちに語りきかせる自慢話といえは何時もこれだ。

「その頃はなア、こころ辺の街道もどえらいガタガタ道でなア橋なんかも今みたいな立派なものじゃのうて、大八車一つを交えるのもやつとで……」

と言ひ、その難路を苦もなく克服して働いた若さを、今の若衆たちに誇るのだ。この大八車というのは、何でも、誰かが、尾張の方で見てきて作つたのが始まりであつたらしく、車輪のカブラは現在のよりも二、三倍

戦後、日本の学童の体格は非常によくなつてゐる。有終西小

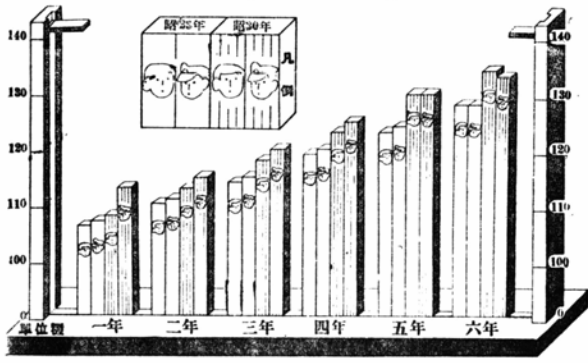
・七種、昭和三十年の身長は、一三三・九種、体重二九・二種、胸囲六五・一種で、女子は前者が身長一三一・二種、体重二八・三種、胸囲六三・四種、後者が身長一三五・一種、体重三〇・八種、胸囲六四・七種で、身長は約四種高い。この発育の原因は、戦後の食事情の好転、進歩した運動、自由な生活様式等が影響してゐると思われこのように、日本人全体の平均身長や体重が、ぐんぐん向上すれば列国の標準に達する日も遠くはない

## グラフを眺めて

### 向上してきた学童の体格

(4)

伸びる兒童の体格 (有西小)



昭和二十三年を基準に、昭和三十年と比較してみると、グラフが示す様に、めざましい向上が見られる。なお昭和二十三年の六年生男子は、身長一二九・八種、体重二七・八種、胸囲六四

大きく、それにこの車の芯棒は金ではなく、ドングリで作つた木の棒であつたから、ガタボコだらけの町までの橋道では三、四回はきまつて折れたもので、その予備としてドングリ棒五六本は用意に積んでいたので、大野町再建の籠と、大八車の由来、まさに件の如し、といつた次第だ。大八車の大活躍のおかげで、大野町はむくむくと起き上つた。しかしそんな時代も永くは続かなかつた。大野町が起き上つてしまつると、狸の当然で、そういうほろもろも段々さびれて、また忘れていた田や畑の草むしりにもどらねばならなくなつたが、その時には、彼らはそんな仕事はばかしく、辛稼がつづかなかつた。つぎの若衆時代（つまり私どもの父親の時代）にはまた祖先代々の習慣にもどつて、田草とり肥桶かつぎで日に夜をついでまだまだ足らぬ忙しさととなり、それでいて報いのない、稼げば稼ぐほど貧乏するといった時代となつた。むろんその青年たちには、餅屋、酒屋の店の名さえおぼえてゐた。

この人々も、今ではもう早い者は孫の二、三人も持つてゐる年配になつてゐるが、日本が世界の舞台でベシヤンコになつた今日のこの混乱期にあつても、動揺することなしに、黙々と、コッソリと、父親の汗がにじむ大地を信じて、更に自分の余生の汗をそこに注ぎこんでゐる。

ただ実行にのみ生きる人々で、そんな親達に育てられて成長した現在の私も青年は、今日の波頭重なる世態のなかで、三省し、自分の双肩にかかる重責を感じねばなるまい。

しかし、正月のいろいろばたでは、やはり今年も古老の（今では村に数人しか残らぬ）大八車時代の話が花を咲かした。これは現在の時勢と同じような時勢を、そつくりみせてくれる興味めか、またはそういう一カク千金の夢が、我々の胸の中に集つてゐるためかと特に私は考えつてゐる。

私は、古老たちの大八車時代の話を思い出すが、建設する者達の生活ぶりを親父たちの時代に見るのである。

「大八車組は大い辛稼がな」と定評がある。それについてこゝ言つた者がある。

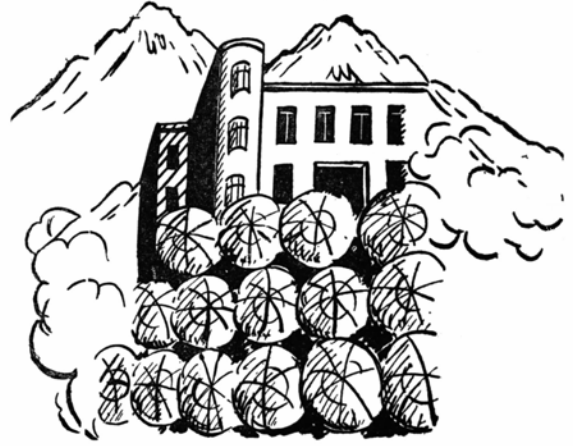
「あの大八車の芯棒（辛稼）が金で出来てなんだでやろうぞいドングリ辛稼やわい。ハハハ」

(新) 安岡 可笑  
(春) 藤 豊子  
(句) 山崎 白雲  
(帖) 大久保小静

石礫交えて暫し初氷  
牛叱りつものどかに小春道  
笹鳴くはこの芦むらの中程か  
さんまうまし一食賃に健かに  
山崎 白雲



### あかるい市民たち (8)



### 新市廳舎遂に完成!

亀山城跡を背景に、荒島からの陽光にくつきりと浮かび上つた白亜の殿堂、市民四万五千の願望であつた新市庁舎、鉄筋コンクリート三階建て、小京都的ふんいきと、近代的感覚をマッチさせた市政の象徴である新庁舎が遂に完成、昭和三十一年新春の光を全面に受け、その偉容を市民の前に明らかにした。しかし不思議なことに、この庁舎の前庭には、おびただしい米俵が積みかさねられている。落成の祝儀の飾り物かと思つて持ち上げると、あにはからんや本物の米俵。いつたい何俵あるのかと数えて行けば、延四千二百俵数え上げたたん、ふと初鶉の声に目が覚めた。

△夢占い△ さて昭和三十年は未曾有の大豊作で、大野市の農家四千二百戸の方々が、市民の殿堂である市庁舎を我々の手で協力しようと、全農家が一俵ずつ市に十カ年間貸付け、この一千六百八十万円を一部財源として、一日も早く実現してほしいとの赤誠の発露と占つた。

ふと初鶉の聲

経ヶ岳連峯の麓、成り、一カ年間の事務が遂行さ伏石の高台にそびえ、伏石の高台にそびえ、始業前の三十分、屋敷の休憩時間、放課後などは、昭和十五年、この事務にあてられている。児童達の自主的な意見が父兄並びに先生を動かし、子供郵便局がつけられた。その後子供達のかわい貯蓄意欲は明るい向上の一路を辿り、今日の発展をみてい

る。昭和二十六年九月、阪谷子供郵便局規約が作られ、これにもとずいて、着々と局の組織が充実発達した。学年始め児童会が選出した係員の十名は、局長、局長代理、窓口、現金、記帳、原簿諸係の人員構成から

全児童が楽しく閲覧している。なお昨年十一月の大員表彰を記念して、全預金者へノートを一冊宛配布し、自からの努力が報いられた事を会員は非常な誇りとしている。



その感心な歩みは、昭和二十七年には県知事、県庁審推進会長の表彰、昭和二十八年に郵政省貯金局長表彰、昭和二十九年五月には金沢郵政局長、同じく十二月に県知事、県庁審推進会長の表彰となり、更に昨年十一月には大蔵大臣表彰の栄に浴した。全国の子供銀行数は、二万

### 屠蘇が追う夢

改良普及事務所生

粟原や塚原をきり拓く。学校、工場、官公衛等の大建築はこの高台に移す。低湿地は全部水田化する。水田は客土床締、暗渠排水をする。池溜を構築し用水設備をととのえる。耕地は全部六寸程度、一日の減水深十五厘内外。一区画一反歩、自動耕種機が自由に使えるように農道を整備する。薬剤撒布は路上から動力撒粉機で、裏作は圃種作物を。そして酪農地帯を建設する。家畜、家畜からは栄養を摂取、里芋、たばこ、ハム、バター、干柿などを名実共に大野市の特産品にする。山には澱粉の木を、田には緑藻そして食糧難を解決する。

非科学的な願ひもあり、支離滅裂のそしりをまぬがれないであろうが、郷土を愛し、農を想う一念が屠蘇に酔うての夢であるならば、心から新年を祝つていただけよう。

### 新春に思う

新年お目出度うございます。元旦、此の日を以つて一線を画し、沈滞した古い空気を一掃し、清新の意気に満ちて、人生の再出発の門出だと思つと心からお祝ひしたい。

さて昨年は、近來未曾有の豊作に恵まれたとは云うものの、吾々小売業者にとつては、各界の諸情勢を眺めて楽観を許さず、昨年よりは本年は更に多事多難が予想されている。願わくば清新な意気を以つて誰しもが云う「今年こそは」の一句を最大限に実現させたい。(商葉 玉木弥一)

### 歌壇

河原貞一

海越えて雌木のみ渡り来し  
国に無花果を熟らしならし  
食はるる

御堂河内四市

膝蔽ふ伸びし畔草刈りみれば  
細く色あせし稲の葉がいづ

### 母子家庭に光を

特典も利用しましょう

か弱い女のお身で厳しい人生に処している母子家庭には、常に一般の暖い援助と協力が欲しいものです。母子家庭には次の特典がありますから、精々利用して下さい。

- △母子家庭子女の就職促進
- △母子福祉資金の貸付制度
- △母子福祉資金の貸付制度
- △母子福祉推進員による地区内
- △母子福祉推進員による地区内母子家庭の巡回指導。

お正月は

楽しいゲームから

サアノ火鉢にあたつてゐる若い方も、コタツの中のオトシヨリもミンナでゲームをいたしましょう。

◆アダムとイヴ

一人がリンゴをもち、一人がナイフをもつて向いあい、むくのです。お互に片手しか使えません。皮をきらず長くむいた組が勝ちです。

◆トランプ投げ

一間程離れてお盆を置き、こちらからトランプをなげ、入った札の数字を合計します。沢山入った人が勝ちです。

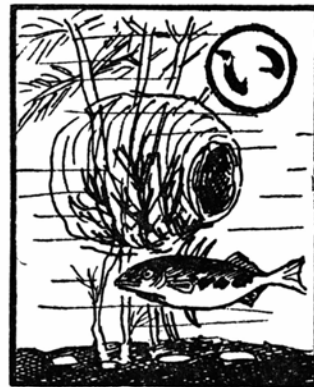
◆関所やぶり

四尺程離れて目カクシをした鬼が坐り、その前を通ります。鬼は通る気配で坐つたままでつかまえます。十五秒以内に通れない人やつかまつた人は鬼です。

いとよのすむ

本願清水

いとよは、大野では「はりと」ともい、体長六厘の小魚で、背と腹にとげのようなひれがあります。元来海に住む魚で、卵をうむ時だけ川を上つて来るのです。草木の莖や、水草の根などで鳥の巣のようなものを作つ



集記 編後

門松やかわらず世々を青く伸び、新しい年は明けたわが市報も去る昭和二十八年七月発足以来第三年度、号を重ねること十有九。その間市当局と市民との唯一つのつながりとして生長をつづけてきたが、過般市報に対する世論をまとめてみると、好評、不評雑多であるが、不評の極端は市報不要論さえあることは、必ず

〔たはろはいろ土郷〕

て、めすがその中で産卵します。大野の本願清水にすむいとよは、一生の間清水にいて一度も海へ下らず、しかもこんなにくさん住んでる所は珍しいので、昭和九年五月、天然記念物として文部省から指定されました。

新年おめでと。幸福が沢山にござる(五申)ようお祈りする申年には凶作が多いといわれているが、それは信じられない。大野の申年は、ずいぶん積極的なことがらを残している。新春に際し、大野地方の申年の歴史を調べてみよう



字は西暦紀元) 養老四年(七二〇) 泰澄大師 白山に二十一

社を建てる。 仁平二年(一一五二) 牛ヶ原庄

申年と大野の歴史

ずいぶん輝かしい業績

皇居内裏の用材をささげる。 長寛二年(一一六四) 牛ヶ原庄 平泉寺を築いた。 平治二年(一一七六) 平重盛、 仏像を白山に安置した。 安元二年(一一二〇) 白山雷鳥 につぎ後鳥羽天皇の御製あり

山、雷沢大和尚没す。小山城斯政をしく。 寛文八年(一六六八) 加越国境の人民 白山の所屬を争い幕府に訴えたところ、幕府これを裁断し、白山下十六カ村を幕領に引上げられた。 元文五年(一七四〇) 木本地頭 外十一カ村、小論につき幕府の裁決をうかがう。 明和元年(一七六六) 松村九山 (医師で詩人) 勝山藩をしりぞけられ大野藩にしたがう。 文化九年(一八一二) 大野の和学者岡田輔幹、深山木を著す 天保七年(一八三六) 六月荒島 岳等に雪降り冷気つづき大凶作となる。 嘉永元年(一八四八) 大野藩内 山隆佐、小形元助等高島洗砲 町に初めて電燈がつく

術を演習

しも報道紙無用というような、時代と文化に逆行する妄論ではなくて、現在の市報のあり方によりよき生長を希望するためのこゝろ意見と拝聴する。愛読されている好評部面の意見では、もと紙面を拡張して政治、経済文化、趣味、商工、農事、家庭青壮年、婦人層の育成等々にまで、深く広くおもしろく読ませるようにと、各人各様の積極的なべんたつがあり、大いに考えさせられるのであるが、市報本来の使命が、新聞に非ず、雑誌でもなく、しかも新聞日刊紙のもち味の長所を生かした上に、更に市民の実生活に利便と向上を寄与する正確にして、親切な生活手帖であらねばならない所に

にむつかしさがああり、経済的裏付の面にも悩みなしとせず、要は市民各位の正しい理解と、市当局の信念熱意とがよくマッチし「待たれる市報」愛される「市報」として育てることに尽きると思う。すぎ去つた一カ年を回顧すると、もやもやと霧の立ちこめた重苦しい日本の空模様であつた。困連加盟、李ライン賠償、オネスト・ジョン、原子爆、基地拡張、どれひとつとしてらちのあかぬうちに暮れてしまつた。針一本おとしても西歐アメリカの果ても響くほど世界は短縮された今日、大野の一角、市民の一人々の動きが世界の動静と相呼応する時代に生きる私共は、暗い日本を明るく、住みよくするための責任と力量とを自覚して新しい年のへき頭新らしい決意の下、古い型から脱却して、市長はじめ保員一同勉強これつとめ、田園都市大野誕生の由来を忘れず、堅実勇敢に、市民一同と手に手をとつて「日本に大野市あり」と呼ぶことができる、平和と幸福の理想都市建設を念願するものである。さわさりながら、功を急ぐは却つて逆行の基、急がず、あせらず、一歩々々、苦しみと笑いをおりまぜて、あしたに大空を仰ぎ、夕べに大地をふみしめて、来るべき三百六十六日を有意義に消し去ることを、年の門出に誓うものである。

(空々生)